

富士信仰の多様な姿

伊勢の漁村の祭り

方座浦集落は富士山から西に約 250km のところにあります。毎年七月、集落の人々は近くにある浅間山の山開きの祭りを行います。この夜、彼らは歌や踊りを通じて富士山の神である浅間神を迎え、これら二つの山を一つにします。

この浅間祭りでは、集落の男たちが顔に白塗りの化粧を施し、それぞれ大幣と小幣と呼ばれる 2 本の巨大な竹の棒を担いで浅間山に向かいます。棒の先端は、無数の日の丸扇が取り付けられた枝葉で装飾されています。これらは浅間神の依代（神を降臨させる祭具）として山頂に立てられます。

男たちはこの間ずっと「富士は男の恋の山」という印象的な歌詞を含む伝統的な祭りの歌を歌い踊ります。この祭りでは富士山信仰が歌や踊りという地域の伝統に取り入れられているようです。